



横浜市立釜利谷東小学校 11月号

学校便り

TEL 045-783-9398 FAX 045-701-9817 令和4年10月28日

ひがしの願い

ひとつの命

がんばる心

しんじあう仲間

全力

副校長 松本 真理

「ソーラン節、格好いいよね。」



授業で校庭を通りかかった3年生が、友達に話していました。その3年生の子は、「ソーラン節」を踊る5、6年生のことを、すてきなお兄さん、お姉さんとして憧れているようでした。

ご存じの皆さんも多いかもしれませんが、現在学校で行っている「ソーラン節」は昔からあるゆっくりの民謡とは

違います。北海道の稚内南中学校の先生と生徒が考えたと言われているいわゆる「南中ソーラン」という「ソーラン節」です。（「TAKIOのソーラン節」という曲です。）この曲が流れると、体が自然に動き出すくらい何回も踊ったことがありますが、腰を落としてしっかり踊ると次の日筋肉痛になるほど、運動量があるテンポの速い踊りです。

私は先日子どもたちの踊っている姿を見て涙が出そうになりました。それは、一人ひとりが、全力を出している姿や、一人ひとりの動きは別でありながらも全体で一つになる場面が心を打ったからだと思います。

踊りの好きな子もいれば、苦手な子もいます。人前にするのが平気な子もいれば、緊張する子もいます。でも、子どもたちを見ていると、苦手であっても緊張しても、全力でがんばろうという気持ちは伝わるものです。最初の話になりますが、だからこそ、3年生の子は



「ソーラン節」を踊る5、6年生を見て「格好いい」と思ったのではないのでしょうか。

明日はいよいよ東小ジュニアカップです。全校の子どもたちが力をつけて、次のステップにあがることができますように、拍手で応援してください。

そして釜利谷東小学校の子どもたちの豊かな心と健康な体を育てるために、引き続き、保護者と地域のみなさまの温かいご理解とご支援をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。